

平成28年度厚生労働省在宅就業者総合支援事業
在宅ワークセミナー&マッチング交流会

在宅ワーカー向け特別講座

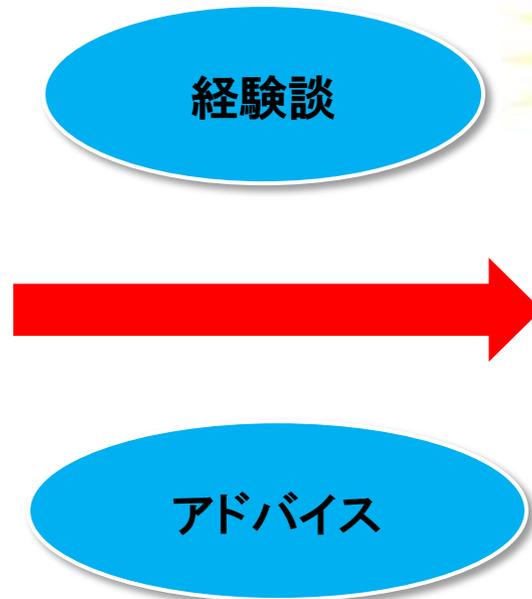
営業スキルアップセミナー



株式会社キャリア・مام 代表取締役 堤 香苗

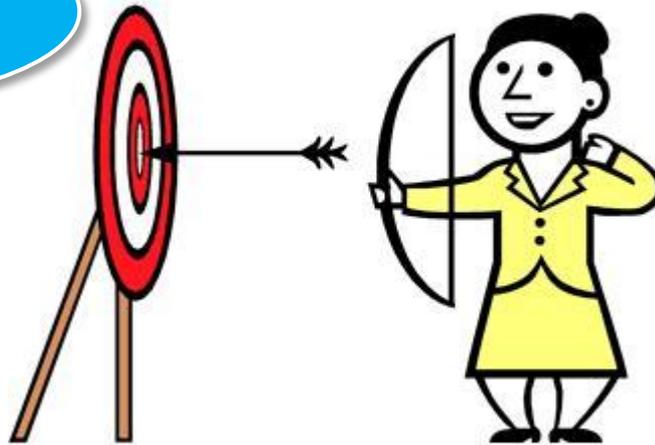
「聞く・話す」の基本

① 聞き上手が話し上手



② 求められていることを話す

なぜ、話したいのか？



相手の考え
や意図は？

話す内容の
優先順位

③ 自己満足な会話に終わらない



④ 「聞く・話す」成功のためのツール

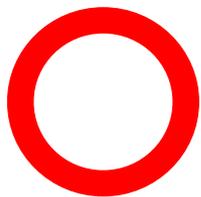
下準備を
して効率よく



ガイドとして
大まかに

最後に確認

⑤ プレゼンテーションの秘訣



表現方法を重視



必要以上の大声
尊大な態度

書類ばかり見る

聴衆に向き合う
姿勢

⑥ 良好な「聞く・話す」を支える信頼関係



誠実な対応



熱意を伝える

⑦ 「聞く・話す」基本のポイント



「話す・聞く」というアクションは、
相手が出て始めて成り立つものである。
必ず「相手」のことを意識して、行動するようにしよう。



コミュニケーションの基本は、相手への思いやり。
自己満足の発散の場ではない。



相手の話の腰を折らない程度に、
わからないことはすぐに確認や質問しよう。

相手にも話の理解度が押し量れ、質問から聞き手の
興味・関心のある話題に広がっていくことも多い。
質問は、話し手にとって値千金であると理解しよう。

神戸女学院高等学部 早稲田大学第一文学部・演劇専攻卒業

大学在学中よりフリーアナウンサーとしてTV・ラジオのDJ、パーソナリティとして活躍。自らの出産・育児体験から、仕事と家庭のどちらも大切にしたい女性たちに、在宅でも仕事が出来て、キャリアを生かす働き方を出来ることを提案することを目的として「株式会社キャリア・ママ」設立。

「女性のキャリア・アップ支援」「主婦ビジネスの実態」「くちコミによるマーケティングやコミュニケーション術」「在宅ワーク」「ITビジネスの可能性」等のテーマで講演多数
「第5回女性起業家大賞」「慶應SFCアントレプレナーアワード2006 プラチナ賞」受賞
著書に「おしゃべりカ～主婦のホンネが常識を変える～」「マーケティングのしかけ」



■ 堤香苗の経歴 ■

1964年6月16日生まれ
1987年 早稲田大学第1文学部演劇専攻 卒業
1995年 育児サークル『PAO』（キャリア・ママの前身）設立
1996年 『キャリア・ママ』設立
1997年 有限会社アクセルエンターテイメント 代表取締役
2003年 特定非営利活動法人 E-ママ 代表理事
2000年 株式会社キャリア・ママ 代表取締役
2004年 第2回多摩ブルーグリーン賞優秀賞
2006年 第5回「女性起業家大賞」受賞
2006年 日本テレワーク協会 第7回テレワーク推進優秀賞受賞
2006年 慶応SFCアントレプレナーアワード2006 『プラチナ賞』受賞
2007年 著書『おしゃべりカ～主婦のホンネが常識を変える！ 幻冬舎
2007年 著書『売れるマーケティングのしかけ』ソーテック社
2012年 東京ワークライフバランス企業 認定（東京都）
2014年 がんばる中小企業・小規模事業者300社 受賞（経済産業省）
2014年 平成26年度女性のチャレンジ支援賞（内閣府）
2016年 東京都女性活躍推進大賞 個人賞
2016年 厚生労働省大臣表彰テレワーク推進企業 特別奨励賞
（厚生労働省）等

■ 所属団体・委員会

1998年 東京都子育て環境整備のためのプロジェクトの審議委員
2001年 静岡県SOHO振興協議会アドバイザー
2001年 財団法人日本SOHO協会評議員
2001年 マイクロビジネス協議会幹事メンバー
2002年 都市基盤整備公団 新郊外居住部会委員
2002年 経済産業省 日本工業標準審査会専門委員
2002年 多摩市学校跡地施設等活用検討市民委員
2004年 テレワークのためのセキュリティガイドライン策定検討委員
2005年 エリアマーケティング研究会
2005年 多摩市自治推進委員
2005年 日本テレワーク協会 理事
2005年 UR地域懇談会委員
2007年 文部科学省 再チャレンジ学習支援協議会協議委員
2008年 三鷹市商工所運行対策審議会委員
2010年 美しい多摩川フォーラム運営委員
2010年 地域における食のリスクコミュニケーション活動等検討委員
2010年 佐賀県ひとり親家庭等在宅就業支援委員
2010年 ソーシャルビジネス・ネットワーク評議委員
2013年 多摩市男女共同参画社会推進協議会 委員
2013年 中小企業政策審議会委員（経済産業省）